

質問回答

NO.	質問	回答
1	1.同年度に予定されている「データベースのデータ運用・管理及び国際的なデータ集約推進等業務」、「データベースに係るシステムの運用・保守等業務」、「海洋ごみモニタリング手法の調和推進等業務」とのそれぞれの関連性や連携内容は何を想定すべきでしょうか。	「海洋ごみモニタリング手法の調和推進等業務」では、海洋表層プラスチックごみのモニタリング手法の調和を目的として、環境省がこれまで作成した"漂流マイクロプラスチックのモニタリング手法調和のためのガイドライン"の更新や、モニタリングにより収集されたデータの利用拡大に向けた今後の取組検討に向けた国際専門家会合の開催等を想定しております。また、「データベースに係るシステムの運用・保守等業務」では、上記のガイドラインに沿って収集されたモニタリングデータを集約・公表するために環境省が構築、R6年度から運用開始を予定している海洋プラスチックゴミマッピングデータベースの保守・運用を想定しております。 本業務では、上記2業務のつなぎとして、データの更なる利用拡大に向けて国際専門家会合等で専門家から出された意見を元に、データベースの具体的な仕様の更新案を検討する。また、他機関（NOAA、GPML、EMODnet等）が管理するデータベースとの連携方法について、先方との打ち合わせ等により確認し、「データベースに係るシステムの運用・保守等業務」の受託者と調整により、システム連携に向けた調整を行います。
2	2.仕様書2(1)：システムの次期改修に向けた要件の整理・スケジュール検討の結果は、案として次フェーズに参照されるレベルを想定すればよろしいでしょうか。それとも、次フェーズの請負業者が既に決定しており、開発が開始できる粒度での成果物提出を想定すればよろしいでしょうか。	本業務では、上記の国際専門家会議等で出された意見を元に、データベースに追加すべき機能等を整理し、R7年度に発注予定の業務において、本業務で整理した情報を参照の上、詳細な仕様やシステム要件定義等を行う想定です。
3	3.仕様書2(1)：「本システムの運用・保守業務の請負者との調整」及び「必要に応じてデータの運用・管理等の関連業務の請負者等との調整」について、調整にどれだけの時間を想定すればよいでしょうか。	仕様書に記載の通り、毎月オンラインで開催する定例会（1時間程度）への参加の他、必要に応じて、システムの運用・保守業務の請負者及びデータの運用・管理等の関連業務の請負者と打ち合わせ（各請負者と半年に1回、各1時間程度のオンライン会議）を想定しています。
4	4.仕様書2(2)：「必要に応じ、本システムの運用・保守業務及びデータの運用・管理等の関連業務の請負者とも調整を行うこと。」とあるが、調整にどれだけの時間を想定すればよいでしょうか。	上記質問2.及び3.の回答で記載したオンライン会議の中で調整を行うことを想定しています。
5	5.仕様書2(2)：NOAA、EMODNet、EUROqCHARM、GPML以外にデータ連携を想定する各所および該当システムについて、既にリストアップされているものがあればご紹介いただくことは可能でしょうか。	現時点では、仕様書に記載のNOAA、EMODNet、GPML（Global Partnership on Marine Litter）が管理するデータベースとの連携（データの融通）を想定しておりますが、追加で提案いただける場合は加点の対象としております。
6	6.本業務で発生するデータやデータベースへのアクセス権限及びプロジェクト進行に必要なリソースは、貴省より付与される認識でありますが、ありますか。	ご認識の通り、データベースへのアクセスやデータベースの機能に関する情報、格納されるデータ等については、環境省より提供します。